

安曇野市教育委員会だより ふるさと安曇野

基本理念 ◇ すべての人が生涯を通じて学び合い、文化のかおり高い安曇野を目指します。 ◇ からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。

「地域とともにある学校」の今
—安曇野市コミュニティスクール最新情報—

教育長 橋渡 勝也

近年、子どもや学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、国は課題解決のためコミュニティ・スクールの創設を打ち出し、「地域とともにある学校づくり」が推進されるようになりました。

安曇野市では、かなり前から地域と連携した学校づくりに取り組んできているところですが、令和4年度からは17小中学校ごとに学校運営協議会^{*1}を設置するとともに、地域の方々が学校の要望に応えていつでも学校の活動に参加する地域学校協働活動のしくみ^{*2}を整え、安曇野市コミュニティスクールとして現在に至っています。

実際の例をご紹介します。市内T小学校では地域住民約40名が登録しており、地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)が学校との連絡調整を担っています。地域学校協働活動の例として、1年生の給食の配膳や清掃の支援をはじめ家庭科の手縫いやミシン掛け、調理実習などで一緒に活動しています。その結果、昨年度1年間に延べ188日、806人の方々に学校へ足を運んでいただきました。(市内各校の取り組みは「地域学校協働活動情報」をご覧ください。詳細は  [こちら](#))

このような地域学校協働活動と学校運営協議会を通じて地域住民の皆さんが学校運営に参画することで、地域と学校との連携がより深まり、充実した学びや喜びが広がってきています。改めて市民の皆さん、学校へ出かけてみませんか。

*1:「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第47条の5)」に定められた組織

*2:「社会教育法(第5条第2項)」に定められた学校が地域と連携・協働して行う活動(地域学校協働活動)

安曇野市教育委員会 令和8年8月定例会 会議概要

8月26日(水) 議案数3、報告数5

8月
定例会

(主な議案)

- ・令和7年度事業に係る教育事務の点検評価について(承認)
- ・安曇野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める規則の一部改正について(承認)
- ・安曇野市誌編さん専門調査会(考古部会)専門調査員の委嘱等について(了承)

次回定例会の予定

・9月定例会 9月29日(火) 午後1時30分から 市役所本庁舎301会議室 申込みなく傍聴できます

交通安全

令和8年度 交通事故^{ゼロ}0プロジェクト ～8月5日から重点的な取り組みをスタート～



子どもたちが交通事故に遭わないようにするため、安曇野市教育委員会では今年も「交通事故^{ゼロ}0プロジェクト」を進めます。特に今年度は4月に道路交通法の大きな改正があり、子どもたちにとって身近な自転車のルールが見直されました。今年度のテーマは、「あ・づ・み・の」の4文字を先頭にした標語で示しました。

(あ) 青信号でも もう一度 みぎ・ひだり

(づ) ずっと友だち ヘルメット

(み) 見えないかげから 車がくるかも

(の) 乗り物ルール しっかりまもろう

他にも新しい取り組みとして、自転車を利用する際に守るべきルールを分かりやすく伝えるため、長野県警と協力して交通安全啓発動画を作成する予定です。学校や家庭で視聴いただきたいと考えています。

子育て支援

公立こども園・幼稚園の 園庭芝生化について

子どもたちが安心してのびのびと遊べる環境づくりとして、公立園の園庭芝生化を進めています。本年度中に新たに4園が完成し、合計13園で芝生化が完了します。芝生は転倒時の衝撃を和らげて怪我のリスクを減らせるため、子どもたちは元気いっぱい園庭を走り回り、感触を五感を通して感じるができます。3歳未満児は、ハイハイを芝の上で嬉しそうにする姿もあります。夏の日も照り返しや地表温度の上昇を抑える芝生のおかげで、朝のうちは戸外で遊ぶこともでき、時にスプリンクラーで水遊びも楽しんでいます。お近くの園の様子をぜひご覧ください。

南安曇農業高校 生涯学習推進講座 「青空と緑の中で」開催中

社会教育

南安曇農業高校の農業クラブが中心となって長年親しまれてきた学校開放講座は、本年度より名称を生涯学習推進講座に改め、新たなスタートを切りました。

今年は、趣向を凝らした9講座を全30回の予定で開催中です。農業高校の生徒たちが自ら講師を務める点が大きな特徴です。生徒たちが日頃の授業や実習を通じて学んでいる専門的な知識や技術を、地域の皆さんや保護者の方々に体験・共有してもらう地域交流の場になっています。

注目のとりぐみ

学校教育

教育支援センター 「けやき」について

さまざまな理由により、学校への行きづらさを抱える子どもたちが、心と体のエネルギーを充電し、そして自分らしさを発揮できるよう、スタッフが生活や学習の支援をする教室が、教育支援センター「けやき」です。

普段は豊科公民館内にある教室で活動していますが、時には近くの体育館で体を動かすこともあります。先日は、演奏家を招いてコンサートを交流学習施設で開催し、一緒に演奏を楽しみました。

子育てや学校生活についての相談を幅広く受け、相談内容に応じて必要なところへもおつなぎします。ぜひご相談ください。

相談窓口は  [こちら](#)

子どもだけで市内のスーパーや大型店の利用はいいの？

市民の方から、「市内のスーパーなどで、子どもを見かける。制服を着た中学生も見た」と、心配の声が寄せられました。ひと昔前は、「寄り道はいけない」「お金は学校に持ってこない」「買い食い厳禁」などの禁止事項が「学校のきまり」として明記されていました。現在でも、同様の内容を指導していますが、確かに夕方近くコンビニなどで子どもだけの利用を目にすることがあります。社会に出る途上にある子どもたちには、買い物など公共マナーを学ぶことも必要ですが、子どもたち自身に何が問題か、どうして地域の方が心配しているかを考え、自ら考え判断し行動する子どもを育てたいと願っています。中には、「家事の一端を担っている子どもの家庭事情」があるかもしれない。最近はそのようなことも頭をよぎります。関係者が一緒に考えていきたい問題です。(ka)

感想やご意見などをお寄せください。

連絡先: 安曇野市教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務係
Mail: gakkoukyouiku@city.azumino.nagano.jp

